

社援総発0708第1号
令和元年7月8日

グリーンコープ生活協同組合連合会 代表者 殿

厚生労働省社会・援護局総務課長



平成30年度社会福祉推進事業に係る事後評価結果について

平素より社会福祉行政の推進にあたり格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、平成30年度社会福祉推進事業公募要項に基づき、外部有識者等で構成する評価委員会において事後評価を行い、その評価結果について下記のとおり通知します。

記

1 事業名：家計改善支援事業実施のための教材作成及び困難事例の支援方法の開発に関する調査・研究事業

2 事後評価評点：4.2

3 評価委員会意見

- 映像教材は、今後、国研修のみならず、今後実施が進む県域研修においても活用が見込まれる。
- 高齢者世帯の家計改善支援の支援ツールの開発を行っており、低年金高齢者の増加等や高齢者世帯の就労時生活から年金生活への移行を考えると貴重な成果物であると考えられる。
- 映像教材、高齢者向け家計支援ツールはいずれも現実的で有効なものと想定される。ただ、家計改善支援へのモデル的取組と、教材・ツールの関係を明確にすべきだったのではないかと。
- 家計改善支援事業の実施にあたり課題となっている、支援の専門性の担保と各種帳票を活用した家計の視点からの支援方法について調査研究が実施され、初任者でも分かりやすい映像教材と人材育成のための手引書が作成された。教材及び手引書は、実践者や現場での課題や要望を調査し、教材等に求められる事項を把握したうえで作成しており、現場の実情に即した内容となっている。また、今後、国が実施する家計改善支援従事者

養成研修の教材として活用しうるものであり、来年度からの都道府県研修においても用いることができる成果物である。

(参考) 事後評価評点の分布 (平成30年度実施法人数 39 法人)

事後評価点	1.9 以下	2.0~2.9	3.0~3.4	3.5~3.9	4.0~4.4	4.5 以上
団体数	0	0	8	25	6	0